

## 2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330412099	道徳教育の理論と実践 Theory of moral education	前田 治			2	必修	1後期

### 科目的概要

こども生活学科の目標「よき教育者育成」、さらにDP①②を受け、小中学校・教育センターにおける道徳研究の実践・全国各地での研修講師の経験を活かし、「道徳教育の理論と歴史理論を理解し、それを活用した指導案作成、模擬授業による授業構成の探究」等の学修を展開する。講義・演習を通して道徳教育がねらう「自己の生き方や人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に、自立した人間として他者と共によりよく生きる人間形成」の在り方を修得する。また、この科目はその後に履修する教育実習の基盤となる科目である。

学修内容	到達目標
<p>① 道徳教育の本質・目標を学び、道徳教育の重要性を理解したうえで、道徳の師範授業を受ける。</p> <p>② 学習指導要領解説道徳を理解したうえで、指導計画・授業設計・指導方法・評価を学び、それを生かした授業作りの基礎（指導案の書き方）を学ぶ。</p> <p>③ ②で学んだことを生かし、発達段階を踏まえた道徳科の授業を想定して指導案を作成し、模擬授業をする。</p>	<p>① 道徳教育の本質・目標、道徳教育の重要性を理解し説明できる。</p> <p>② 学習指導要領解説道徳を踏まえた授業作りの基礎を活用して、道徳の授業の指導案を立案することができる。</p> <p>③ ①②を活用し、発達段階を踏まえた模擬授業の探究を通して、よりよい授業に向けての課題を解決することができる。</p>

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	教職を目指し、道徳の授業を進めるうえで必要なことについて、図書館などの文献を活用し、自己学修することができる。
	働きかけ力	
	実行力	教職に就くという目標や、出題された課題に向かって、くじけずやり切ることができる。
考え方抜く力	課題発見力	
	計画力	教職を目指し、道徳の授業を進めるうえでの課題について、客観的に整理し、見極めることができる。
	創造力	教職を目指し、道徳の授業を進めるにあたり、よりよい授業展開の在り方を様々な立場から考え、指導案を作成することができる。
チームで働く力	発信力	教職を目指し、道徳の授業を進めるにあたり、子供に分かりやすく伝えるために必要な「留意点を的確な文章で伝えたり、発表したりすること」ができる。
	傾聴力	教職を目指すにあたり必要な「子供に最低限守らせるべきルール・マナー」について、理解するとともに、自らも厳守することができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	教職を目指すにあたり必要な「子供に最低限守らせるべきルール・マナー」について、理解するとともに、自らも厳守することができる。
	ストレスコントロール力	

### テキスト及び参考文献

テキスト：中学道徳 あすを生きる3 日本文教出版

テキスト：中学校学習指導要領(平成29年告示) 解説 特別の教科 道徳編 (文部科学省)

テキスト：道徳テキスト：道徳を図解する 電子書籍版 大学教育出版 (第1週で紹介)

オープンエデュケーション：「特別の教科 道徳」アーカイブ (文部科学省) <https://doutoku.mext.go.jp/>

### 他科目との関連、資格との関連

この科目はその後に履修する教育実習指導・教育実習の基盤となる科目である。

・資格との関連：栄養教諭1種免許

学修上の助言	受講生とのルール
<p>・絶対に教職に就くという強い意志をもち続け、学修したことと学校現場で絶対に生かすという決意で、深い学びをしてほしい。</p>	<p>① 遅刻2回を欠席1回に換算する。</p> <p>② 授業開始から30分以降は欠席とする。</p> <p>③ 授業中に私語が著しい場合は退席、欠席扱いとする。</p> <p>④ 教員が許可する以外授業中の携帯使用禁止とする。</p>

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
	平常評価	40	①	✓	
			②		
			③		
					・道徳教育の本質、目標、道徳教育用語を理解できる。（第1～3週で扱った内容から、語句の穴埋めや用語の説明について、出題する。特に、道徳教育の目標は頭に入れてくること。小テストはGoogleクラスルーム formsで行う。40点満点（素点）
学修行動	レポート	25	①		
			②	✓	
			③		
	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	25	①		
			②		
			③	✓	
	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
					（主体性）ワークシートの内容に加え、文献を使って自己学修をすることができる。 （実行力）指導案作成に積極的に取り組むことができる。 （課題発見力）立案した指導案の課題を発見し、修正することができる。 （創造力）よりよい授業するために、様々な面から指導案を検討することができる。 （発信力）模擬授業で分かりやすく発信することができる。 （傾聴力）発表に対して、自分の意見を返答することができる。 （規律性）自分自身に厳しくルールを課すことができる。
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の目標等について、小テストで30点以上とれる。</li> <li>・ねらいが達成でき、楽しく学べる指導案を作成することができる。</li> <li>・ねらいが明確な分かりやすい模擬授業をすることができる。 (小テスト36点以上・他がすべてAを上回る内容であればSとする)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の目標について、小テストで24点以上とれる。</li> <li>・ねらいが達成できる指導案を作成することができる。</li> <li>・分かりやすい模擬授業をすることができる。</li> </ul> <p>※レベルBを満たしていない発表・指導案、又は提出遅れはレベルCと判断する。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション 授業概要・授業のルール・評価方法を理解する。 ・学習指導要領に示された道徳教育の本質、目標、主な内容や道徳教育用語を理解する。	・講義 ・PP：これまでに受けた道徳授業の調査を行う。 ・ワークシート(classroomドキュメント)：学級経営との関連について理解する。	・道徳教育の本質/目標/主な内容について、説明できるよう、整理しワークシート(classroomドキュメント)に記述できる。	(予習) 学泉ノートを読んで理解していく。 (復習) ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習し、本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
2	・教育における道徳の位置づけ 知・徳・体の中で、何を優先すべきか考える。	・講義(classroomドキュメント) ・ワークシート	・知・徳・体の「徳」の中で、何を優先すべきかについて自分の考えを整理しワークシート(classroomドキュメント)に記述できる。	(予習) 参考文献を見つけ教育とは何かを考えてくる。 (復習) ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習し、本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
3	・道徳性とは 道徳的な判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と道徳的態度の意味について理解する。	・講義、ワークシート(classroomドキュメント) ・道徳的態度の意味を端的に表現した動画を視聴する(心得)	・道徳性とは何かについて整理しワークシート(classroomドキュメント)に記述できる。	(予習) 学習指導要領を読んでくる。 (復習) 小テストに向けてこれまでのワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習しておく	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力
4	・道徳の授業創りの基礎I 道徳の指導計画・指導方法を学ぶ。そのうえで、道徳の指導過程「方向付け－教材提示－基本発問－中心発問－把握の発問－道徳的価値の自覚－終末」の意味を理解する。	・小テスト(1～3週の内容 45分) 小テストはGoogleクラスルームformsまたは、プリントで行う。 ・講義・ワークシート(classroomドキュメント) ・確認テストのフィードバック	・小テストで、24点以上とれる。 ・道徳の指導計画/指導方法/指導過程を整理しワークシート(classroomドキュメント)に記述できる。	(予習) 小テストの想定問題を予想し、理解していく (復習) ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習し本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
5	・道徳の授業創りの基礎II(教員による師範授業) 道徳的価値の解釈の方法、道徳的諸価値(内容項目)、道徳の授業で扱う教材解釈の方法を知る。	・グループ討議：考えを分かりやすく相手に伝える(発信力)。 家族愛の捉えをグループ討議し、考えをレポート(classroomドキュメント)にまとめる。(傾聴力・課題発見力) ・講義：「窓ガラスと魚」の解釈をする。	レポート(classroomドキュメント)を作成し、期日までに提出できる。	(予習) 家族愛とは何か自分の考えをまとめておく。オープニングデュケーション：「特別の教科 道徳」アーカイブ(文部科学省) <a href="https://doutoku.mext.go.jp/">https://doutoku.mext.go.jp/</a> を視聴していく。 (復習) ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習し本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
6	・道徳の授業の難しさ(オンドマンド)：道徳の授業の難しさをまとめると。 ・道徳における評価の在り方・難しさ(アンケート結果配信) ・子供の評価方法について理解する。	・講義(オンドマンド)：実際の評価方法を理解する。 ・ワークシート(classroomドキュメント)：アンケート結果から見えてきた道徳の授業の難しさを各自ワークにまとめる。	・道徳の授業の難しさと評価の在り方について整理し、ワークシートに記述できる。	(予習) 道徳科に求められる評価(文科省) <a href="https://www.youtube.com/watch?v=1Gw696-Zeq4">https://www.youtube.com/watch?v=1Gw696-Zeq4</a> を視聴していく。 (復習) ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習し本週のポイントをまとめておく。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
7	・授業分析の方法(教員による師範授業) 子供理解と授業分析の方法を知る。 ・授業記録を読む 子供の発言予想と実際の反応のズレを読み取る。	・講義 ・ワークシート(classroomドキュメント)(教材：ヒキガエルとロバ)	・子供理解と授業分析の方法を整理しワークシート(classroomドキュメント)に記述できる。 ・指導案を期日までに提出できる。	(予習) 子どもを理解するとはどういうことかまとめておく (復習) ワークシート(classroomドキュメント)の内容を復習しておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
8	・小学校の授業(VTR)を観察 小学校の道徳の授業を観察または視聴する。	・観察実習 積極的に授業を観察する。子供の発言の意味を瞬時に聞き取る。(傾聴力)	・観察(視聴)記録を期日までに提出できる。	(予習) 授業観察の視点をまとめておく (復習) 観察または視聴記録を期日までにまとめる	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・観察実習報告会 各自のレポート (classroomドキュメント) 内容を基に報告する。 ・模擬授業の指導案の修正 観察を通して学んだことを基に指導案を修正する。	・報告と質疑応答 分かりやすく報告する。(発信力) ・報告をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。	・報告することができる。	(予習) 聞き手に分かりやすい報告に向けて準備をしておく。 (復習) 観察または視聴記録を期日までにまとめる	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	・道徳の授業作りの実際 1 指導案の書き方と発言予想の方法を理解する。 ・模擬授業の指導案作成 1 持参した教材を基に、模擬授業に向けた指導案(略案)を作成する。	・講義、ワークシート (classroomドキュメント) 教材: 風に立つライオン ・指導案を作成し(創造力)ドキュメントで提出する。	・指導案を作成することができる。	(予習) 実施してみたい道徳の教材を図書館等で選ぶ。 (復習) ワークシート (classroomドキュメント)の内容を復習し本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 創造力 規律性
11	・模擬授業の指導案作成 2 持参した教材を基に、模擬授業に向けた指導案(略案)を作成する。	・講義 ・指導案を作成する (classroomドキュメント) (創造力)	・指導案を作成し、期日までに提出できる。	(予習) 指導案の修正をしてくる。 (復習) ワークシート (classroomドキュメント)の内容を復習し本週のポイントをまとめておく	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
12	・模擬授業 I 情報機器・教材を活用し、子供の実態を踏まえた模擬授業を行い、その授業を振り返る。	・授業と質疑応答(教員・学生双方向で行う) 分かりやすく発表する。(発信力) ・授業をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。	・模擬授業の振り返りを行うことができる。	(予習) 聞き手に分かりやすい模擬授業に向けて準備をする (復習) 模擬授業に使う教材を修正する	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	・模擬授業 2 情報機器・教材を活用し、子供の実態を踏まえた模擬授業を行い、その授業を振り返る。	・授業と質疑応答(教員・学生双方向で行う) 分かりやすく授業する。(発信力) ・授業をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。	・模擬授業の振り返りを行うことができる。	(予習) 聞き手に分かりやすい模擬授業に向けて準備をする (復習) 模擬授業に使う教材を修正する	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・模擬授業 3 情報機器・教材を活用し、子供の実態を踏まえた模擬授業を行い、その授業を振り返る。	・授業と質疑応答(教員・学生双方向で行う) 分かりやすく授業する。(発信力) ・授業をよく聞きとり、的確な質疑応答を行う(傾聴力)。	・模擬授業の振り返りを行うことができる。	(予習) 聞き手に分かりやすい模擬授業に向けて準備をする (復習) 模擬授業実施後の反省をまとめておく。	180	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	・学修のまとめ 学修のまとめとして、感想等をレポート (classroomドキュメント)「学修を終えて」にまとめる。	・オンデマンドのレポート (classroomドキュメント) 教職に就きたいという思いを表現する(実行力)。	・本時間内に最終レポート (classroomドキュメント)を提出できる。	(予習) 14週の授業を振り返っておく (復習) これまでに学修してきたことを復習しておく。	180	主体性 実行力 創造力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力